

楽 楽



2013・3・9 発行
平成 25 年 3 月号
広報担当：近藤

<http://www.asahikonsei.com/>

◆ 練習スケジュール ◆

月／日		会 場	時 間	備 考
3 月	9 日（土）	旭丘公民館	18：00～21：00	ヴォイトレ(全員対象)
	16 日（土）	〃	19：00～21：00	
	23 日（土）	〃	〃	
	30 日（土）	〃	〃	
4 月	6 日（土）	〃	〃	
	13 日（土）	〃	〃	
	20 日（土）	〃	〃	
	27 日（土）	〃	〃	
5 月	4 日(土祝)	〃	〃	
	11 日（土）	〃	〃	
	18 日（土）	〃	〃	
	25 日（土）	〃	〃	
6 月	1 日（土）	〃	〃	
	8 日（土）	〃	〃	
	15 日（土）	〃	〃	
	22 日（土）	〃	〃	
	29 日（土）	中央公民館軽音楽室 2	〃	

★役員会告

2月16日（土）18:30~19:00 役員会が開かれました。

（1）愛知県合唱連盟加入継続の件について

協議の結果、引き続き参加を継続することにしました。

＊ 近日開かれる県合唱連盟総会へは出席せず、委任状を提出ことにしました。

＊ 旭混声合唱団員数の届を36人と報告します。

＊ 全日本合唱連盟会報“ハーモニー”の購入は、合唱団の団員数に応じて決められるため当合唱団は9冊を購入します。

（2）愛知県合唱連盟“ヴォーカル・アンサンブルコンテスト”への対応について

＜開催要項＞ 4月21日（日）開催 三井住友海上しらかわホールにて

申込み締切日：2月20日

＊ 協議の結果、今回は参加を見送ることにしました。今後は参加に向けて計画的な取り組みが必要との意見が出されました。

ミサについて

（旭混声に入って初めてミサ曲を歌いました。皆さんは常識かもしれませんが、自身の勉強をかねてミサ曲

についてネットから調べ抜粋しました、ページの関係で続きは次の機会に)

キリストがユダヤ人によって死刑にするために捕らえられる直前、キリストは弟子たちと最後の晩餐を行なった。そこでキリストは、パンとぶどう酒を皆に与えて、「これは世の罪を負って十字架につけられ、神にあがないをするための私の血と肉である。これを飲み、食べることで、私を記念するように」と述べた。この最後の晩餐を再現し、神への信仰を確認するのがミサである。食事はやがて簡略化され、象徴としてパンを分けあって食べるのみになった。前半の聖書を読む部分(ことばの典礼)と、後半のパンを分けあう部分(交わりの儀)の、二つの主要部分からなる。

ミサの形式の骨格はすでに2、3世紀には定まり、7世紀までには主要部分の式次第が整った。カトリック教会は、ミサの式次第を統一し1570年にローマ典礼書が發布された。現在演奏されるほとんどのミサ曲は、トレント、バチカンの2つの公会議の間の、400年間のルブリカミサの時代に作られたものである。従って作曲者を問わず、歌詞はすべて共通で、テン語で書かれている。

ミサで唱えられる文句は二つに分けられ、

毎回共通の部分 : 通常文

ミサの行なわれる日によって異なる部分 : 固有文

と呼ばれている。ミサの言葉は古くから「歌うように唱える」ものとされ、通常文、固有文それぞれについて、単旋律(ユニゾン)の歌が作られた。これがグレゴリオ聖歌である。これに加えて、12世紀頃からは複旋律(合唱)の歌も作られるようになった。

毎回のミサで唱えられる通常文のうち、会衆が唱える以下の5つ、すなわち

キリエ : 憐れみの賛歌

グローリア : 栄光の賛歌

クレド : 信仰宣言

サンクトゥス／ベネディクトゥス : 感謝の賛歌

アニュス・デイ : 平和の賛歌

は、ミサの中でも特に重要な位置を占めるので、この5ヶ所を選んで複旋律の音楽が作曲されるようになった。これがいわゆる「ミサ曲」で、14世紀末、現在のベルギーを中心にギョーム・ド・マショーらの頃が最初とされている。以来今日まで、ルネサンス、バロック、古典、ロマンと音楽の流れの変わるにつれて、そのときどきの形式で、まったく違った雰囲気 of ミサ曲が、作られ続けてきた。

ミサの中でも、高位の聖職者が司式し、侍者や聖歌隊を多く従えたものを、「ミサ・ソレムニス」(盛儀ミサ、荘厳ミサ)というまた、全体をコンパクトに作曲し、規模も小さくしたミサ曲を「ミサ・プレヴィウス」(短ミサ)という(パレストリーナ、モーツァルトなど)。カトリックでもプロテスタントでも、一時は音楽的美しさを追求するあまり、本来会衆が全員で唱えるべき言葉のほとんどの部分を訓練された聖歌隊が歌い、会衆はただ聴いているだけという状態に近くなってしまった。これではミサが会衆から遊離してしまうという反省から、近年は聖歌隊のみに頼らず、平易な音楽を用いてなるべく会衆全員で歌う(唱える)ことがふつうになった。そのためもあって現在では、オーケストラと合唱を備えたミサ曲を使ってミサを行なう機会はほとんどない。

【開祭の儀】

ミサの開始を告げる部分。まず司祭や侍者の入場にともなって、会衆が入祭唱(Introitus:固有文)を唱える。ついで司祭と会衆のかけあいで入祭の挨拶(Salutatio・通常文)が行なわれたのち、みなで改心の祈り(Confiteor:通常文)を唱える。改心の祈りに続いて、会衆があわれみの賛歌(Kyrie・通常文)と、栄光の賛歌(Gloria・通常文)を唱える

Kyrie(主よ) **あわれみの賛歌**

三位一体を象徴して、神と、キリストと、聖霊に、それぞれ3回づつ憐れみを乞う。東方教会(現在のギ

リシャ正教)の祈りが転用されたので、この部分のみラテン語でなくギリシャ語である。

Kyrie, eleison. Christe, eleison

主よ、あわれんで下さい。

主よ、 憐れめ。 キリストよ、 憐れめ

キリストよ、あわれんで下さい。

Kyrie, eleison.

主よ、あわれんで下さい。

Gloria(栄光) **栄光の賛歌**

キリエ(あわれみの賛歌)に続けて、会衆によって唱えられる。

前半は神への賛美と感謝からなり、後半より古く成立したといわれる。後半はキリストへの呼びかけで、賛美をし、憐れみを乞う。最後の一節で、聖霊にも言及する。

最初の一行は先唱者がグレゴリア聖歌の旋律を用いて一人で唱え、会衆は二行目から唱和する習慣だったので、古い曲には一行目を欠き、二行目から作曲されているものも多い。

Gloria in excelsis Deo,

いと高きところには

栄光 ～に 高い所 神に,

神に栄光、

et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

そして地には善意の人々に平和。

そして ～に 地 平和 人々に よい 意思の。

Laudamus te, benedicimus te,

私たちは汝をほめ、

(私たちは)ほめる 汝を, (私たちは)祝福する 汝を,

汝を讃え、

adoramus te, glorificamus te.

汝を拝み、

(私たちは)崇拝する 汝を, (私たちは)あがめる 汝を.

汝をあがめ、

Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.

のたいなる栄光のゆえに

感謝を 実行する 汝に ～のために 大きな 栄光 汝の.

汝に感謝し奉る。

Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens.

神なる主、天の王、

主よ 神よ, 王よ 天の, 神よ 父よ 全能の.

全能の父なる神よ。

Domine Fili unigenite, Jesu Christe, altissime.

主なる御ひとり子、

主よ 子よ 唯一の, イエス キリストよ, とても高い.

至高のイエス・キリストよ。

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.

神なる主、神の子羊、

主よ 神よ, 子羊よ 神の, 子よ 父の.

父のみ子よ。

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.

世の罪を除きたもう主よ、

～の人よ 取り除く 罪を 世界の, 憐れめ 私たちを.

私たちをあわれんで下さい。

Qui tollis peccata mundi,

世の罪を除きたもう主よ、

～の人よ 取り除く 罪を 世界の,

suscipe deprecationem nostram.

私たちの願いを

報いよ 哀願に 私たちの.

聞き入れて下さい。

Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.

父の右に座したもう主よ、

～の人よ 座る ～に 右 父の, 憐れめ 私たちを.

私たちをあわれんで下さい。

Quoniam tu solus Sanctus, tu solus Dominus,

あなたのみが神聖で、

～だから あなたが 唯一の 神聖な, あなたが 唯一の 主,

あなたのみが王で

tu solus Altissimus, Jesu Christe.

あなたのみがいと高いのだから、

あなたが 唯一の とても高い, イエス キリストよ.

イエス・キリストよ。

Cum Sancto spiritu in gloria Dei Patris.

聖霊とともに、

～とともに 聖なる 霊 ～の中に 栄光 神の 父の.

父なる神の栄光のうちに、

Amen.

そうでありますように。

まことにまことに.

■ イベント情報 ■

★男声合唱団 グランフォニック 第3回男声合唱ジョイントコンサート

日 時 : 2013年3月17日(日) 午後3時開演 (午後1時半開場)

会 場 : 愛知県芸術劇場コンサートホール

演目・曲目: 全10曲

料 金 : 全自由席 2,000円

★ランチタイム名曲コンサート オカリナ コンサート

～オカリナで綴る春の訪れ～ オカリナ室内合奏団 “クオーレ”

日 時 : 2013年3月18日(月) 午前11時半開演(午前11時開場)

会 場 : 宗次ホール

演目・曲目: ヴィヴァルディ「四季」より“春”、荒城の月 ほか

料 金 : 全自由席 1,000円 → 500円(アルト松本まで)



Vol.734 18日(月)
オカリナで綴る
春の訪れ
～オカリナの素朴で温かな音色を～
滝廉太郎:荒城の月
ヴィヴァルディ:「四季」より“春”
ピアソラ:リベルタンゴ 他

オカリナ室内合奏団“クオーレ” 佐藤 美和
松岡啓子 松本 恵美子 佐藤 益子 水野 一枝 さとうみわ
まつもとあけみ まつもとえみこ さとうますこ みずのあずさ (ピアノ)

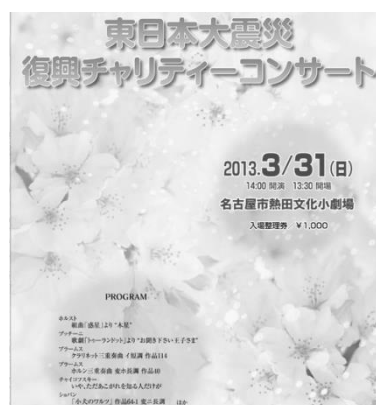
★カピリアロハ フラダンスショー ～フラが繋ぐハワイの心 日本の心～

日 時 : 2013年3月24日(日) 午後13時開演(午後12:15開場)

会 場 : 名鉄ホール

演目・曲目: KAPILI ALOHA HULA DANCE SHOW 2013

料 金 : S席 5,000円 A席 3,000円



★東日本大震災 復興チャリティコンサート

日 時 : 2013年3月31日(日) 午後14時開演(午後13時半開場)

会 場 : 名古屋市熱田文化小劇場

演目・曲目: ホルスト 組曲「惑星」より“木星”、プッチーニ 歌劇「トゥーランドット」
より“お聞き下さい 王子さま” ほか

料 金 : 入場整理券 1,000円